

平成 28 年度「アウトリーチ（訪問支援）研修」に係る研修計画書

【 1 . 機関・団体概要】

機関・団体名	特定非営利活動法人 わたげの会 (社会福祉法人 わたげ福祉会)
機関・団体代表者	理事長 秋田 敦子
所在地	〒 9 8 2 - 0 0 0 1 仙台市太白区八本松 1 丁目 1 2 - 1 2
電話番号	0 2 2 - 2 8 5 - 3 5 3 1
F A X 番号	0 2 2 - 2 8 5 - 7 5 0 5
メールアドレス 本研修担当者	watage_fuwa@yahoo.co.jp 担当者名：秋田 敦子
H P アドレス	http://watage.or.jp
研修実施場所	〒 同上
研修実施場所の最寄駅	JR 東北本線 長町駅
組織概要 (設立趣旨)	障害者、高齢者、不登校、ひきこもりの経験者、当事者、その家族等が社会から孤立しないための包括を目的としたネットワークを構築し、社会との接点等の社会参加や自立の支援又は相談に関する事業等を行ない、お互いが支え合い、生きがいを持って生活を営むことができる地域社会の構築に寄与することを目的とする。
職員数	全職員数 2 3 名 (常勤 1 3 名 / 非常勤 1 0 名)
機関・団体における アウトリーチの特徴等	当法人は、平成 9 年の設立の当初から、ひきこもり等の困難を有する子供・若者及びその家族に対しアウトリーチ等を行ない、家族以外の人と交流できる居場所（フリースペース）や、社会参加及び自立に向けた支援又は相談を実施している。また、当事者に対する支援又は相談のみならず、その家族に対する支援（家族支援）にも重きをおいて取り組んでおり、家族の交流会・勉強会においては、家族が「どのような関わり方ができるのか」等を扱い、支援を行う者とその家族が協力した当事者の社会参加に促すための環境づくりに努めているほか、アウトリーチにおいても、アウトリーチを行う前に家族と丁寧な面談を行うなど、「当事者(本人)」「家族」「支援者」「関係機関」が協力・連携しアウトリーチを行っている。
機関・団体で運営している 相談・支援機関名	厚生労働省事業「せんだい若者サポートステーション」 仙台市ひきこもり地域支援センター「ほわっと・わたげ」 仙台市障害者小規模地域活動センター「わたげ」 仙台市ひきこもり青少年等社会参加促進事業 共同生活援助「わたげ寮」 ひきこもり自立支援寮「メゾンわたげ」

【 2 . 平成 27 年度中のアウトリーチの実績概要】

アウトリーチ件数：32件

対 象：10代から40代のひきこもり当事者及び家族

支 援 方 法：専門の支援員がアウトリーチを行い、当事者や家族と丁寧かつ継続的に関わりながら社会参加について共に考える。支援を行う上での良好な関係が形成された場合は、当事者の意志や状態を鑑みて、ピアサポーターが同行するケースもある。

【 3 . 過去 3 年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

厚生労働省認定事業 センダイ若者サポートステーション

(キャリアカウンセリングや各種講座への参加を通して、就職に向けたプログラムを実施)

仙台市障害者小規模地域活動センター事業・仙台市ひきこもり青少年等社会参加促進事業

(不登校・ひきこもりの若者が通所するフリースペースを運営) その他

【 4 . 過去 2 年間における子供・若者の支援に関する研修実績】

内閣府「アウトリーチ(訪問支援)研修」に係る研修生受け入れ

【平成 27 年度】 1名 平成 27 年 12 月 7 日～12 月 11 日

【平成 26 年度】 1名 平成 26 年 9 月 15 日～9 月 19 日

【 5 . 「アウトリーチ(訪問支援)研修」に係る講師(担当者)】

	「アウトリーチ研修」実施上の役割	氏 名	・関連保有資格 ・アウトリーチの経験年数
1	統括責任者	秋田 敦子	・わたげの会理事長 ・アウトリーチの経験 17 年
2	実施責任者	秋田 憲一	・地域活動センター施設長 ・アウトリーチの経験 12 年

【 6 . 研修生の受入条件、研修内容等】

	受 入 条 件
受入可能な日程	平成 28 年 10 月 24 日～平成 29 年 1 月 13 日の間の 5 日間 研修生の希望を取り、調整の上で研修期間を決定する
受入可能な人数	1 期間に 1 名(計 6 名迄) 研修生の希望によって調整する
保有資格の要否、 その他の受入条件	特に指定はない

研 修 内 容

下記の「初日」～「最終日」までの研修内容については、過去の実績に基づいた予定となります。

アウトリーチの同行やプログラム等の開催に応じて、随時、変更となります。

研修全体の概要	アウトリーチの同行や事例解説、当法人が運営する相談支援施設(居場所(フリースペース)や若者サポートステーション等)における当事者対応、家族への支援、関係機関との連携、円滑なリファーやオファー等について研修を行う。
研修初日の開始予定時刻 (午前の開始可)	9時30分
研修最終日の終了予定時刻 (午後の終了可)	17時30分
初日	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・法人概要、事業概要、研修内容、留意点等について説明 ・研修生の自己紹介、職務内容や経歴等の概略について説明を受ける ・支援又は相談等の対応方法について説明 ・各相談支援施設等について説明
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援現場の同席 ・家族教室の見学 ・訪問支援についての事前学習
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援(これまでの支援経過について同行スタッフより説明) ・訪問後、訪問(支援)記録の作成補助と振り返り ・フリースペースでの利用者対応
4日目	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースペースでの利用者対応 ・スポーツ活動への参加
最終日	<ul style="list-style-type: none"> ・実地研修の振り返り ・訪問支援についてのまとめ ・各機関との連携、ネットワークについての説明
研修内容の配分	講義1：利用者対応3：演習1
研修生の宿泊について	各自で手配
実地研修における アウトリーチの回数(予定)	1回程度 被支援者の状態(健康状態)等や実地研修期間中のアウトリーチの有無によっては実現できない場合もある。
備考欄	作業やスポーツのプログラムがあるので、動きやすい服装と運動靴持参